

## iOS 版 TRULINK アプリ 4.0 操作ガイド

**互換性のある製品:** Halo 2、Halo RIC13、Halo BTE13

TruLink アプリの使用がサポートされている iOS デバイスおよび iOS のバージョンについての最新情報は <https://www.starkeyjp.com/product/lp/halo2> の Apps の項目をご参照下さい。

TruLink アプリを使用する前に補聴器がプログラムされ、iOS デバイスとペアリングされていることをご確認下さい。詳細は *iOS デバイスで TruLink アプリを使用するために: 設定準備 QuickTIP* をご参照下さい。

**注意:**補聴器と iOS デバイスの Bluetooth 接続と接続維持を担当しているのは Apple のオペレーティングシステム (iOS) です。

## リモート画面

### 補聴器のボリューム調整

1. 画面下のナビゲーションバーの「リモート」をタップします。

- » 右のスライダー、左のスライダーをそれぞれ指でスライドさせて、左右の補聴器のボリュームを調整します。
- » 「スライドして調整」を指でスライドさせて、両方の補聴器のボリュームを調整します。
- » 「ミュート (消音) アイコン」をタップと補聴器のマイクがミュート (消音) の状態になります。

**注意:**スライダー部分の小さな灰色の点は、補聴器の基準のボリューム位置です。

- » 「スライドして調整」部分を2回タップすると、基準のボリューム位置に戻ります。



リモート画面

### 補聴器のメモリー変更

1. リモート、パーソナル、TRT 画面右上の「メモリー」をタップします。
  - » 販売店にて作成したメモリーは「補聴器のメモリー」に表示されます。
  - » パーソナルで作成したメモリーは「TruLink メモリー」に表示されます。
2. 選択したいメモリー名をタップします。
3. 選択されたメモリーは、現在選択しているメモリーとして画面左上に表示されます。
4. メモリーの作成についての詳細は、パーソナルメモリーの作成をご参照下さい。



メモリー選択

## コンフォートブースト

コンフォートブーストは、音質を最適化しつつ騒々しい環境のノイズを積極的に低減させる機能です。コンフォートブーストは、初期設定では無効になっています。

**コンフォートブースト表示の設定:** 設定（歯車アイコン） をタップし、「コンフォートブースト表示」のスライダーを右にスライドして有効にします。リモート画面に戻ると、コンフォートブーストアイコン（図赤丸）が表示されています。

**コンフォートブースト機能の有効/無効:** コンフォートブースト機能を有効/無効は、リモート画面上のコンフォートブーストアイコンをタップします。アイコンをタップすると、青色のハイライト表示に切り替わります。

**注意:** 次の場合、コンフォートブーストは自動的に無効になります。

- » メモリー変更
- » ストリーミング開始時
- » プログラミングセッション（サウンドスペース含む）の実行時



コンフォートブースト

## パーソナルメモリーの作成

ユーザーは販売店で聞こえの専門家が作成したメモリーを基に TruLink アプリを使用して、メモリーをカスタマイズすることができます。ユーザーは「サウンドスペース」と「ノイズマネージャー」を使用してメモリーをカスタマイズすることができるだけでなく、iOS デバイスの位置情報サービスを使用したジオタグ機能を使用することもできます。

1. 新しいカスタムメモリーを作成するために、メモリ→「補聴器のメモリー」にて現在の聴取環境に一番適したメモリーを選択します。選択したメモリーは、パーソナルメモリーを作成する上でのベースラインとして機能します。
2. 画面下のナビゲーションバーの「パーソナル」をタップします。
3. 「カスタムメモリーの作成」をタップします。
4. ユニークなメモリー名を入力し、「続く」を選択します。
5. 「サウンドスペースを開始」をタップすると、低音・高音の調整が出来ます。「ノイズマネージャー」をタップすると、補聴器のマイクの指向性、風切り音、ノイズ、人混の中での会話の調整が出来ます。詳細は、「サウンドスペース」または「ノイズマネージャー」の項目をご参照下さい。

## サウンドスペース

サウンドスペースでは、ユーザー自身の音の好みや環境に合わせたカスタムメモリーを作成することができます。

1. 「サウンドスペース起動」を選択後、青色の●を指で動かします。補聴器の音質は一時的に変更され、様々な音質を試すことが出来ます。
2. 好みの音質が見つかったら「完了」をタップし、新しいメモリーとして保存するためにメッセージに従って「OK」をタップします。
3. メモリーにジオタグを割当ててる場合は、「メモリー位置」を選択します。詳細については、下記ジオタグの項目をご参照下さい。

**注意:** メモリー位置は初期設定では「位置が割り当てられていません」と表示されています。これは現在の位置にジオタグが登録されていないことを意味します。



サウンドスペース

## ジオタグ

ジオタグを使用すると、マップ上の場所にメモリーを割り当てることが出来ます。ユーザーは、割り当てた場所から100m以内に入ると、TruLink アプリはその場所で登録したメモリーに自動的に切替えます。(iOS デバイスの位置情報サービスを有効にする必要があります)

1. 「メモリー位置」をタップし、画面上部のジオタグを選択します。
2. 「ロケーションマーカーアイコン」をタップまたはジオタグピンを設置したい場所を指で長押しします。
3. 「保存」をタップします。
4. 「メモリー位置」に「割当済みジオタグ」と表示されます。ユーザーが割当てられた場所に訪れると、自動的にその場所に割当てたメモリーに切替ります。

ジオタグの削除: 「メモリー位置：割当て済みジオタグ」を選択後、ロケーションマーカーアイコンまたはジオタグピンをタップし「保存」を選択します。



ジオタグ

## ノイズマネージャー

ノイズマネージャーはパーソナルメモリーの補聴器のマイクの方向、風切り音、機械騒音、人混の中での会話を調整することが出来ます。これらの機能は、様々な騒音環境で聞こえの快適性と言葉の明瞭性をバランスよく維持します。ユーザーは、騒がしい場所でこの機能を有効にすることで、設定の違いを聞き分けることが出来ます。

1. 「ノイズマネージャー」をタップした後、画面を右から左にスワイプすると、「指向性」、「風切り音に使用」、「ノイズに使用」、「人混で使用」を選択することが出来ます。
2. **指向性:** この機能を調整することで、補聴器のマイクが音を拾う場所にフォーカスを当てることが出来ます。シミュレーションアイコンをタップして、次の中から適切な指向性を選択します:
  - » **アダプティブ:** 無音とする角度を自動的に移動させることで、あらゆる角度からの音声を保護します。
  - » **ダイナミック:** 環境に応じて自動的に指向性と無指向性に切替えます。
  - » **無指向性:** 応答は無変化; あらゆる角度からの音声を均一に増幅します。
  - » **指向性:** 応答は無変化; ハイパーカーディオイドのポーラーパターンを使用して、後方からの音よりも前方からの音を増幅させます。
3. **風切り音に使用:** この機能は、風切り音が発生する環境下での快適性を向上させるように設計された機能です。風切り音が煩わしく感じるときに、この機能を調整してください。レベルが上がるほど雑音抑制機能が働きます。
  - » レベルを上げると、快適性が増します。
  - » レベルを下げると、雑音抑制力が減少します。
4. **ノイズに使用:** この機能は、機械音のような騒音がある環境下で快適性を向上させるように設計された機能です。例えば、掃除機や扇風機、機械のモーター音などが煩わしく感じるときに、この機能を調整してください。レベルが上がるほどノイズ抑制機能が働きます。
  - » レベルを上げると、快適性が増します。
  - » レベルを下げると、騒音抑制力が減少します。
5. **人混で使用:** この機能は、背景に雑音がある環境下で会話をするときの快適性を向上させるように設計された機能です。背景雑音が悪魔をして会話が聞き取りにくいときに、この機能を調整して下さい。レベルが上がるほどノイズ抑制機能が働きます。
  - » レベルを上げると、快適性が増します。
  - » レベルを下げると、雑音抑制力が減少します。
6. 変更は自動的にリアルタイムで補聴器に保存されます。



指向性



人混で使用

## メモリー概要

メモリー概要では、各メモリーに設定されているすべての機能の詳細を一目で確認することが出来ます。

1. 「メモリー」をタップします。
2. 「メモリー概要」をタップします。
3. すべてのメモリーと、各メモリーで有効になっている機能が表示されます。
4. メモリー名をタップすると、ジオタグの割当てとメモリーの説明文（例：TRT、電話ストリーミング、オーディオストリーミング、ジオタグ）を見ることが出来ます。
5. 画面右上の「マップ」をタップすると、「メモリー位置」にてジオタグピンを設置した場所を確認することが出来ます。



メモリー概要

## 自動切換メモリー

### 自動車専用メモリー

TruLink アプリは iOS デバイスが時速 16km 以上の速度で走行していることを検出すると、予め設定したメモリーに自動的に切換えることが出来ます。(iPhone の位置情報サービスを有効にする必要があります)

1. 「メモリー」をタップします。
2. 自動車メモリー用に使用したいメモリー名の「i マーク」 をタップ、またはサウンドスペースにて新しいメモリーを作成します。  
注意: 使用するメモリーは自動車メモリーです。Inspire にて自動車メモリーを作成していない場合は、混雑、屋外メモリー、またはカスタムメモリーを使用します。
3. 「自動切換メモリー」にて「自動車」の「このメモリーをオンに…」をタップすると、スピードが時速 16km 以上になった場合、自動的に設定したメモリーに切換ります。

### 電話・オーディオストリーミング用の自動切換メモリー

自動切換メモリーは、自動的にパーソナライズされたストリーミングを体験できるように設計されています。電話や音楽などがストリーミングされると、補聴器は自動的に設定したメモリーに切換ります。自動切換メモリーは初期設定で Stream Boost(ストリームブースト)に設定されています。自動切換メモリーの作成は:

1. 「メモリー」をタップします。
2. 電話・オーディオストリーミング用に使用したいメモリー名の隣の「i マーク」 をタップ、またはサウンドスペースにて新しいメモリーを作成します。
3. 「自動切換メモリー」をタップします。
4. 「電話」または「オーディオ」の下にある「設定」をタップします。
5. ストリーミング中の補聴器マイクの設定 をタップします。:  
» オフ (Stream Boost)  
» 変更なし:補聴器のマイクの音量は最大のままです。  
» 減少:補聴器のマイクの音量は半分に減少します。  
» ミュート
6. 保存をタップします。設定が保存されると、電話や音楽がストリーミングされると補聴器は自動的に設定したメモリーに切換ります。



自動切換メモリー

# 電話

TruLink アプリは補聴器と連携して両耳ストリーミングでのハンズフリー通話を提供します。

## 電話を発信する場合

1. iPhone の「電話アイコン」 をタップし、「連絡先」にて電話番号を選択、または「キーパッド」にて電話番号を入力して電話を掛けます。

## 着信に応答する場合

1. iPhone から電話の着信が通知されます。  
**注意:** 音楽などのストリーミング中に着信を受信した場合、音楽のストリーミングは中断されます。
2. 画面の「応答アイコン」 または「拒否アイコン」 をタップします。

## オーディオルーティングの変更

ユーザーは、電話の通話音声と音声メディアアプリの音声の出力先を選択することができます。出力先は、補聴器、iOS デバイスのスピーカー、または Bluetooth 機器から選択することができます。

1. 設定  > 一般 > アクセシビリティ > ヒアリングデバイス > オーディオルーティング > の順にタップします。
2. 通話音声の出力先を変更する場合は「通話オーディオ」を、音声メディアアプリなどの出力先を変更する場合は「メディアオーディオ」をタップします。
3. オーディオルーティングは初期設定で自動になっています。その他の選択肢として:
  - » 常に補聴器を使用: オーディオは補聴器にストリーミングされます。
  - » 補聴器を使用しない: オーディオは iOS デバイスにストリーミングされます。
  - » 自動: オーディオは現在接続されている Bluetooth にストリーミングされます。(これは iOS デバイスによって管理されます)

## 補聴器で着信音の再生

電話着信時に iPhone の着信音を補聴器で再生することができます。この機能は iOS9.0 以降の iOS デバイスでのみ使用することができます。

「デバイスで着信音を再生」は初期設定では無効になっています。  
有効にする場合は：

1. 設定  > 一般 > アクセシビリティ > ヒアリングデバイスの順に進みます。
2. 「デバイスで着信音を再生」を右にスライドして有効にします。
3. iPhone に着信が受信されると、補聴器から着信音が聞こえます。



オーディオルーティング



デバイスで着信音を再生

# オーディオストリーミング

TruLink アプリは、補聴器と連携してiOS デバイスからの両耳ストリーミングを提供します。オーディオストリーミングは、すべての音声メディア（ミュージック、映画、マップ、FaceTime など）をストリーミングします。

## オーディオストリーミング

1. iOS デバイス上の音声メディアアプリ（「ミュージック」 など）をタップします。
2. 補聴器へ音楽のストリーミングを開始します。
3. **ボリューム**の調整は：
  - » アプリ内の「**ボリューム調整スライダー**」を動かします。
  - » iOS デバイス本体の**音量調節ボタン**（ 赤丸）を押します。

**注意:** これはストリーミング中の音楽の音量調整についての説明で、**補聴器のマイクから入力される音の音量調整ではありません。**補聴器のマイクから入力される音量を調整する場合はリモート画面のスライドパッドを使用します。



オーディオストリーミング

# デバイス設定

リモート画面上の**歯車の形をしたアイコン** をタップして「**デバイス設定**」にアクセスします。

デバイス設定の「**情報**」に含まれるもの：

- » 説明書
- » ヘルプ
- » 概要
- » ご意見

デバイス設定の「**機能**」に含まれるもの：

- » 外部マイク
- » 補聴器を探す
- » アラート
- » デフォルトのホームメモリー（※iPhone 6s 以降の iPhone のみ）
- » 自動ストリーミング
- » コンフォートブースト表示
- » デモモードを保持



デバイス設定

デバイス設定、情報、機能についての詳細は iOS デバイスで TruLink アプリを使用するために: **設定準備 QuickTIP** をご参照下さい。

# TRT

耳鳴りの専門家は、補聴器のメモリーの TRT 機能を有効にすることができます。

ユーザーは耳鳴りの専門家が Inspire にて **TRT 機能**を有効にしたメモリーまたはそのメモリーを元に作成したカスタムメモリーの耳鳴り治療音 (TRT) の音量や波の速さを調整することができます。すべてのメモリーで TRT 機能が無効に設定されている場合、TRT 画面は表示されません。

**注意:** TRT 機能が無効のメモリーを選択した上で「TRT」を選択すると、画面上に、耳鳴りの専門家に相談するよう注意を促す文章が表示されます。

TRT が有効になっている適切なメモリーを選択した上で、画面下のナビゲーションバーの「TRT」をタップして下さい。

## 耳鳴り治療音(TRT)調整

1. TRT をタップすると、「**ボリューム画面**」が表示されます。
  - » **右または左のスライダー**をそれぞれ指でスライドし、片耳のみの耳鳴り治療音 (TRT) の音量を調整します。
  - » 「**TRT レベルの調整スライド**」を指でスライドし、両耳の耳鳴り治療音 (TRT) の音量を調整します。

**注意:** スライダー部分の小さな**灰色の点**は、耳鳴り治療音(TRT)の基準のボリューム位置になります。画面上の「**スライドして TRT レベル調整**」部分を2回タップすると、基準のボリューム位置に戻ります。

## 耳鳴り治療音(TRT)の波の速さの調整

1. 「**スピード**」をタップします。
  - » **0、1、2、3**をタップして、両耳での波の速さを調整します。  
**注意:**「0」の波は一番遅く、「3」の波は一番速い波になります。
2. 「**左右表示 R/L**」を有効にすると、左右それぞれの波の速さを調整できます。



TRT ボリューム



TRT スピード